

8-3-3 美しい国づくり専門委員会

1. 主な活動記録

(1) 活動目標

「美しい国づくり」の実現に向けた土木と建築等を含めた専門家としての取り組みの検討を行う。JIA（日本建築家協会）との協働宣言である『「美しい国づくり」をみんなの力で』（平成16年記者発表）と宣言に対する具体的な行動計画（平成18年記者発表）を実践することが目標である。

JIA との協働開催セミナー（シンポジウム）を行い具体的な行動を行う。また小冊子を作成し形としての成果を残す。

また、委員会内外向けの「美しい国づくり」勉強会を開催し、情報共有やスキルアップを目指す。

(2) 委員会の開催等

- ・委員会開催（勉強会）：10回（4月～3月）
- ・JCCA/JIA 合同委員会：4回（4月～3月）
- ・シンポジウム開催：1回（9月）

(3) 主な内容

- a) 協働シンポジウムのテーマ、協働のあり方について議論し、講師などの確定を行う。
- b) 「美しい国づくり」勉強会の開催。
- c) JCCA との合同会議での議論。
- d) 年1回の協働シンポジウムの開催と記録としての小冊子の刊行準備。

2. 実績報告

(1) 委員会：平成28年4月～平成29年3月

10回開催し、過年度の活動等を踏まえ、今年度の活動方針・意見交換や協働シンポジウムの企画準備、勉強会企画などを行った。

(2) 委員会（勉強会）：(1) と同時開催

専門委員会内部向け「美しい国づくり」勉強会を開催。委員持ち回りにより、美しい国づくりに関する話題について発表し、委員で議論した。

(3) JCCA/JIA 合同委員会：4回

JIA 日本建築家協会都市まちづくり委員会と、土木・建築の専門家集団として社会に果たすべき役割や、団体の垣根を越えた協働のあり方について議論するとともに、協働シンポジウムの企画検討がなされた。

(4) 第12回シンポジウム：平成30年9月15日

「多様性と融合」をテーマとして、第12回JCCA/JIA 協働シンポジウムを行った。『グローバルに支持される、ローカルな価値づくり』と題して、(社)ランドスケープアーキテクト連盟副会長平賀達也氏に基調講演をいただき、土木・建築・ランドスケープの設計者が、ものづくりの評価を空間づくりにとどめず、社会の持続性に寄与できる仕組みづくりなどの話題を紹介いただいた。その後、平賀達也氏（上掲）、宿本尚吾氏（国土交通省住宅局建築環境企画室長（前豊島区副区长））、岡田智秀氏（日本大学教授）、赤松佳珠子氏（法政大学教授）とコーディネーターの福井恒明氏（法政大学教授）に登壇いただき、融合への手掛かりについてパネルディスカッションを行った。

3. その他報告事項

小冊子「誰が景観を創るのか？」【02】編集集中。4回～9回のシンポジウムを纏める。

4. 次年度の活動について

引き続きシンポジウムや合同会議を中心に JIA との協働を行っていく方針。土木の分野では、本委員会は JIA とのコラボレーションの窓口として大きな使命を担っている。日本の公共空間を創る上で、協働しなくてはならない団体として重要な関係と考える。美しい国づくりを推進することで、本協会が景観業務のイニシアティブを取れるように、指導的立場を確立したい。

次年度は、協働シンポジウムを2回予定しており、小冊子【02】を発行したいと考える。

あわせて、委員会向けの勉強会等の開催を継続する。

（美しい国づくり専門委員会委員長 太田 啓介）